



**きず 傷は、どうしてひとりでになおるの**

**きず びょうき 傷や病気をなおす、しぜんちゆりよく 自然治癒力があるから**

い もの からだ には、じぶん からだ じぶん まも のうりよく しぜん じゅんび 生き物の体には、自分の体を、自分で守るためのはたらきをする能力が、自然に準備されています。

それは、からだ そと から、きん からだ ひつよう からだ はい それを取り除いたり、けがなどをすると、きず をなおして、もとのようにするのうりよく 能力です。

このように、きず びょうき じぶん からだ のうりよく しぜんちゆりよく 傷や病気を、自分の体にある能力でなおすことを、自然治癒力といっています。つまり、からだ しぜんちゆりよく 傷はひとりでになおるのです。

**きず 傷がなおるには**

きず ができると、ち 血はすぐにかたまってきずぐち をふさぎ、しゅっけつ 出血したりばい菌などが入ってきたりするのを防ぎます。これが「かさぶた」です。

つぎ きずぐち から はい きん ころ はつけきゅう しゅうごう きず が 次に、傷口から入ったばい菌などを殺すために、白血球などが集合し、傷が化のう(うむ)するのを防ぎます。そして、きずぐち もとどお ひ あたら さいぼう 傷口をなおして元通りにするために、皮ふは新しい細胞をきずぐち きず しぜん どんどんつくり、傷口がふさがって傷がなおると、「かさぶた」は自然にとれていきます。(監修・保志 宏)

傷がなおるまで

